

## 自己評価報告書

平成 23 年 5 月 3 日現在

機関番号：14303

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20520325

研究課題名（和文） 影響と創造性—大岡昇平におけるスタンダードの場合

研究課題名（英文） Reception and creativity - The case of Stendhal in Ôoka Shôhei's works -

研究代表者

ジュリ ブロック (Julie BROCK, P.)

京都工芸繊維大学・工芸科学研究科・教授

研究者番号：70293983

研究分野：比較文学

科研費の分科・細目：文学 ・ 各国文学・文学論

キーワード：比較文学、大岡昇平、スタンダード、国文学、仏文学

## 1. 研究計画の概要

本研究は、大岡昇平の著作品を対象に、彼が西洋文学から受けた影響を、単なる影響に留まらず、如何にして独自の創造性へと発展させ、普遍性を持つ文学作品へと昇華させたかを明らかにする。まず大岡昇平の作品についての研究の現状を把握するため、大岡に関する国内外の既往研究を調査・整理し、大岡研究の実態の明確化、および本研究と直に関わる資料の選定を行う。次に、『わがスタンダード』の読解・分析・仏語翻訳およびそれに関する引用出典と論文自体の出版経歴のデータベースも本計画に含まれている。最後に大岡昇平に関する批評およびスタンダードの著書に限らずそれに対する評論（日仏問わず）の調査を行う。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 設備設置、調査、データベース作成。必要設備を設置、マガジンプラス及び、国立国会図書館（NDL）を利用し、国内の既往研究文献調査をデータベース化し分析を行った。分析方法としては約 1000 件に及ぶデータを、大岡作品に関し時系列において分類し、作品別の評論の推移に焦点を当て分析した。また大岡昇平の代表的作品『野火』、『俘虜記』、『武蔵野夫人』などについて、それぞれにも焦点をあて、分析を行った。

(2) 『わがスタンダード』の読解・分析・仏語翻訳作成。大岡昇平論文集『わがスタンダード』における日本のスタンダード受容および、フランスのスタンダード評論を調査した。翻訳は全体（約 400 頁）を完了。これに応じる大岡の引用出典と論文自体の出版経歴をデータベース化（作家、翻訳家、評論家、日仏合わせ約 500 件）をした。

(3) 関連資料の調査・収集・分析。『わがスタンダード』中に挙げられる全ての日仏文学作品および評論文のリストをデータベース化した（データベースは全て日仏語版を作成）。

(4) 必要文献の収集と照合。上述で得られた文献のうち、研究上必要なものを選択、現物収集・複写を実施（文献複写、現物収集合わせ約 200 件）。まず『わがスタンダード』における出典を明確にするため、それぞれの原文および、収集した文献との照合を実施した。次に大岡の既往研究において、文献を作品ごとに目次を作成し、整理した。

(5) インタビューの実施と情報収集・分析。スタンダードの専門家である西川長夫氏、フィリップ・ベルティエ氏、大岡昇平の専門家である星野絢一郎氏、桜井均氏、花崎育代氏、関塚誠氏、『武蔵野夫人』の日仏翻訳者であるテリー・マレ氏、彼ら 7 名の研究発表に参加し、その際の議論の総括を執筆した。

(6) 成果報告。発展として国際高等研究所において、「受容から創造性へ—近現代日本文学におけるスタンダードの場合」と題す研究会を発足した。その基礎となる本研究の「大岡昇平におけるスタンダード」を中心に「受容と創造性」を巡る研究の意義と概要について引き続き発表した（2011 年 5 月現在、5 回実施）。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

企画していた研究計画について、随時調整を行っているため。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1) 仏語翻訳：『わがスタンダード』（大岡昇

平著)の作成を完了したうえで、それに関する脚注などの補完作業に取り組む。出版社との交渉を開始する。また、大岡昇平『わがスタンダード』に関する読解・分析および感想を発展させる。

(2)関連資料の調査・収集および分析。前年度に引き続き、以下の手順にて、研究に必要な資料の調査・収集を行った上、適宜読解、整理する。公表に向かって文献に関するインデックスや解題などの準備を進める。

①関連資料のリストを作成。『わがスタンダード』中に挙げられる全ての仏文学作品および評論文のリストの完了。『わがスタンダード』中に挙げられるスタンダード作品のリスト作成(仏語版、および日本語訳版)※『わがスタンダード』についてのインデックスを作成する事が目的であるので、『スタンダード著作全集』内で大岡昇平が言及・引用した部分を参照する。

②既往研究の検索。既往の大岡昇平研究論文のうち、本研究に関連するものを調べ上げる。今まで調査した国内外の大岡昇平研究論文に関するリスト作成および分析。場合により現地調査もする。

③購入・収集。本学図書館を利用し、全国の大学図書館より論文の複製の収集および購入の完了。

④読解・分析。大岡昇平が『わがスタンダード』中の論文において、スタンダード著作品、スタンダードに関する論文、その他のフランス文学の中から、多数引用を行っているが、これらの出典を明示する脚注が存在しない。これを明確にするため、「スタンダード全集」の原文および、収集した文献との照合を行い、大岡のスタンダード研究成果を、現代的形式に見合う形の文学研究書として補完する。また、収集した文献の読解・分析を行い、本研究主題と照合し、その相関性について明確にしてゆく。

⑤インタビュー実施。1名に対し、インタビューを実施。ベアトリス・ディディエ氏(スタンダード研究の第一人者)。

⑥平成23年度研究成果発表。京都国際高等研究所にて発表を二回実施する予定。第一回目は6月:『野火』と『武蔵野夫人』に関する評論の1950年代と現代の比較研究。第二回目は12月:『野火』に関する評論。その他、今年度末にフランス日本研究大会議の報告書、*Japon Pluriel*『複数の日本』にて2010年12月に発表した論文「Aperçu de la critique publiée au Japon sur *La Dame de Musashino* - une visée syncrétique de l'amour dans la création romanesque d'Ôoka Shôhei」(『武蔵野夫人』に関する日本での批評について大岡昇平の小説創造における諸教混淆的な恋愛観)を掲載する予定。なお、大岡昇平によるスタンダード研究の位置づけについて概観し、その意

義、日本の他の作家・研究者におけるスタンダード受容との関連、問題点などについて論じ続ける予定。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

①ジュリー・ブロック、スタンダード研究者大岡昇平、*L'Année stendhalienne*、9、p. 363-381、2010、査読済

[学会発表](計8件)

①ジュリー・ブロック、『武蔵野夫人』に関する日本での批評について 大岡昇平の小説創造における諸教混淆的な恋愛観(2010年12月17日 フランス日本研究大会議 国立東洋言語文化大学)

②ジュリー・ブロック、「大岡昇平『わがスタンダード』を翻訳する 引用の効果」(2010年11月13日 国際高等研究所)

③ジュリー・ブロック、『野火』の創作におけるヴェルレーヌの作用」(2010年7月2日 国際高等研究所)

④ジュリー・ブロック、「大岡昇平『野火』についての研究～現状と展望」(2010年3月5日 国際高等研究所)

⑤ジュリー・ブロック、「人間たちが分かちあう世界 ジュリアン・ソレルとクレープの奥方」(2009年11月14日 国際高等研究所)

⑥ジュリー・ブロック、「スタンダードの読者・批評家としての大岡昇平-その根本的な態度」(2009年11月13日 国際高等研究所)

⑦ジュリー・ブロック、「大岡昇平の論文「日本のスタンダード」にみる受容史の主題系と社会的観念についての問題点」(2009年5月29日 研究プロジェクト「受容から創造性へ-近現代日本文学におけるスタンダードの場合」 国際高等研究所)

⑧ジュリー・ブロック、スタンダード研究者大岡昇平(2009年5月23日 スタンダード研究会 早稲田大学)

[その他]

①国際高等研究所における研究会「受容から創造性へ-近現代日本文学におけるスタンダードの場合」詳細 URL

[http://www.iias.or.jp/research/project/2010\\_05.html](http://www.iias.or.jp/research/project/2010_05.html)

②上記国際高等研究所において2010年3月5日開催した研究会の報告掲載サイト URL  
<http://effet-de-vie.org/comptes-rendus>